# KANSAI TIMES

Vol. 0104 November 30, 2020

**KENZO × KANSAIYAMAMOTO コラボレーション**

## 山本寛斎が生前最後にデザイン監修を行った「KENZO × KANSAIYAMAMOTO」コラボレーションコレクションが2020年のホリデーシーズンに登場します。

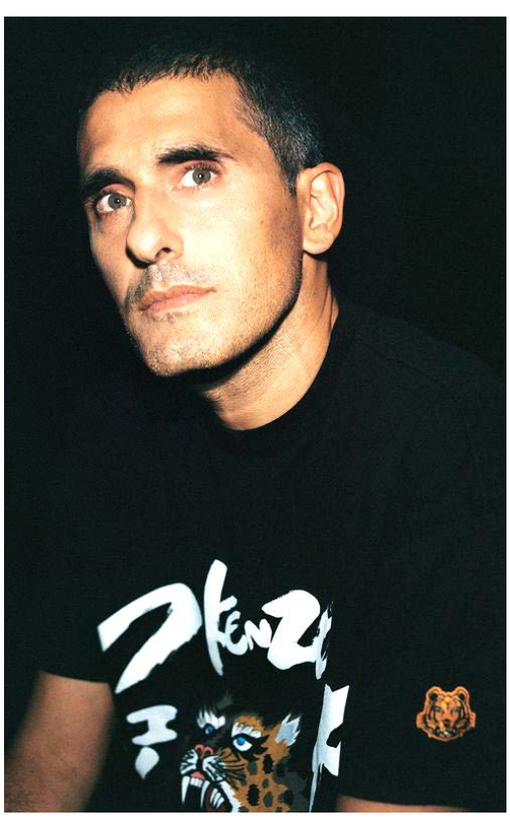
昨年「KENZO」のクリエイティブディレクターに就任したフェリペ・オリヴェイラ・バティスタ氏のオファーによって実現した今回のコラボレーションは、高田賢三氏を尊敬する寛斎にとってとても特別なものとなりました。「KANSAIYAMAMOTO」のアーカイヴからインスピレーションを受けたフェリペ氏によって再構築された今回のコレクションでは、新たに寛斎が直筆でロゴをデザイン。
寛斎らしい躍動感と、フェリペ氏の瑞々しい感性が重なり合ったメンズ、ウィメンズアイテムがラインナップ。
今年、日本人として世界のファッション界で活躍したレジェンドの二人が相次いで他界してしまいましたが、そのアイデンティティとクリエイティビティが次世代へと受け継がれていくことを象徴するかのような、意義深いコレクションとなりました。
11月30日よりオンラインストア、12月中旬よりKENZO店舗にて順次発売予定。

**KENZO.com ｜ https://www.kenzo.com/eu/en/stories/kenzo-x-kansai-yamamoto**

## KENZO クリエイティブディレクター フェリペ・オリヴェイラ・バティスタ氏のコメント

2019年10月 ロンドンにて

2019年の7月にKENZOに就任した際にすぐ、このブランドでコラボレーションしたいアーティスト、デザイナーやクリエイターたちを考え始めました。KENZOとは全く別の個性の山本寛斎さんですが、高田賢三さんとの共通点は多く、彼の名前はすぐに浮かびました。
高田賢三さんは60年代のパリに、山本寛斎さんは70年代にロンドンと、ヨーロッパで日本のデザイナーとしてたどり着いた最初の二人はその独特な感性でファッションの歴史に改革をもたらしました。
両者ともに日本美術における伝統的な動物を取り入れ、寛斎さんはポップで漫画的にも見える表現、また賢三さんは自然の中での動物のナチュラルな交流を描いていたように思えます。
それ以上に両者に共通する"JOY"／喜び、直感的な自由さといった感性を組み合わせたらどんなに素晴らしいことが生まれるのだろうか、80年代初頭にスペインで起きた"MODIVA"というカウンターカルチャーの中でも全く衰える事のない彼らの勢いを表現すべく、今回のコラボレーションのリファレンスを模索し始めました。
2019年7月に賢三さんにお会いし、同年8月に山本寛斎さんにお会いしました。その後、すぐに今回のコラボレーションコレクションに取り組み始め、寛斎さんのアーカイブ作品の中からモチーフやアートワークを再構築し、KENZOのアーカイブプリントとミックスさせ、洋服自体はシンプルで実用的になるように心がけました。
これは賢三さんも寛斎さんも、着やすさや着心地を常に考慮した服作りをされていたからです。そして、二人の作品が放つ、ファッションは全ての人たちのために、という精神も引継ぎたかったという思いからです。



こういったアイディアを基に、パリの若者たちを集めました。
俳優、フォトグラファー、モデルといった様々な職業を持ち、何人かは私自身も過去に撮影したことがある友人たちです。作りものではないリアルな日々のCelebration of life／生活を称賛するということを切り取り、自発的で生々しい様子を表現したかったのです。
二人とも広い世界の中での人生の喜びや称賛、どんな時でもポジティブなエネルギーをそれぞれの作品を通じて表現し続け、賢三さんも寛斎さんもこのようなメッセージや印象と共に多くの人々の心に生き続けるのであろうと思っています。
今回のコラボレーションの中で私が一番気に入っているのは寛斎さんのタイガーヘッドとケンゾー、カンサイ、フェリペ、と3人の名前が日本語で、寛斎さんの手書きで書かれたブラックのTシャツです。
非常に残念なことに、お二人とも今年逝去されてしまいました。
深い悲しみと同時にこのコラボレーションへの強い意味と想いを感じます。
彼らの驚くべき才能と功績へのオマージュをこのコラボレーションコレクションを通じて捧げたいと思います。

## Shibuya Scramble Square 2020 Christmas Installation

## 山本寛斎事務所が手掛けた インスタレーションが 渋谷スクランブルスクエアの クリスマスをカラフルに彩る！

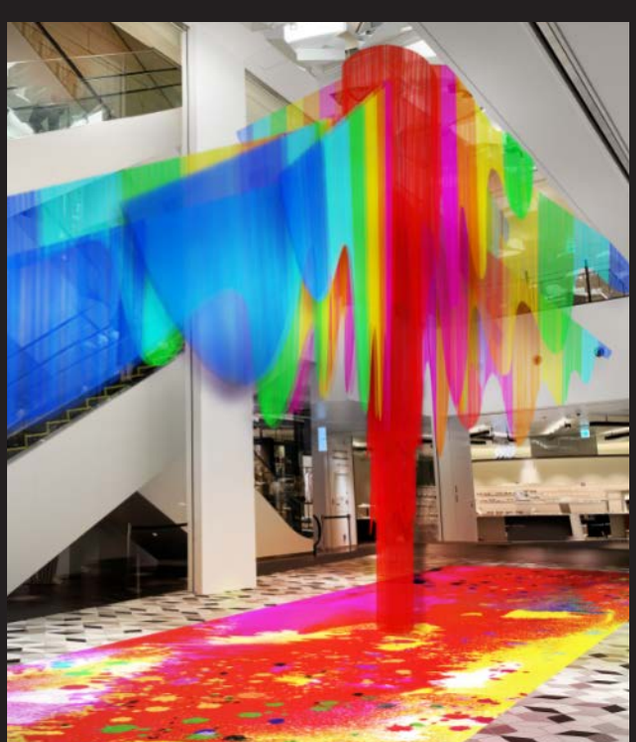
昨年開業した商業施設「渋谷スクランブルスクエア」にて、11月26日（木）から12月25日（金）の期間限定で、7階イベントスペースのクリスマスインスタレーション「元氣ツリー（元樹）」のデザインをはじめ、館内全体の装飾を山本寛斎事務所が手掛けました。

今年の渋谷スクランブルスクエアのクリスマスのテーマは「My Color, My Christmas」。

十人十色という言葉のように、ひとり一人の持つ“色”によって生み出された“個性”が花開き、多様な価値観が尊重されることで渋谷の街がいっそう彩り豊かになることを願って、カラフルなインスタレーションをデザインしました。

人々の社会生活の在り様が一変し、今までとは異なる状況で迎える本年のクリスマスですが、『美しい色は人を元氣にする』という山本寛斎の世界観で、渋谷から「元氣」をお届けします！

**▲ SCRAMBLE CHRISTMAS ▲**
https://www.shibuya-scramble-square.com/2020_christmas/



7階イベントスペース「L× 7（エル バイ セブン）」イメージパース